

令和6年度第7回小牧市立米野小学校改築協議会 議事録

1. 開催日時：令和6年10月15日(火)午後6時から午後8時まで

2. 場 所：小牧市立米野小学校プレハブ校舎多目的教室

3. 出席者：

(1) 委員

鈴木 久代 (米野小学校 校長)
小栗 幸子 (米野小学校 教頭)
青山 英孝 (米野小学校 主幹教諭)
辻ノ上 祐介 (米野小学校 校務主任)
森 猛 (米野スポーツ文化クラブ会長)
安藤 千晶 (学校サポーター)
伊藤 恵美 (学校地域コーディネーター)
柘植 昭雄 (交通安全ボランティア)
滝口 竜也 (米野小学校 PTA 会長)
中田 雅之 (米野小学校 PTA 副会長)
松由 美由紀 (米野小学校 PTA 家庭教育委員)
安藤 和憲 (米野小学校教育後援会 後援会長(北外山区長))
中村 研一 (中部大学工学部建築学科教授)
鈴木 賢一 (名古屋市立大学特任教授)

(2) 事務局

伊藤 京子 (教育委員会事務局 教育部長)
矢本 博士 (教育委員会事務局 教育部次長)
丸藤 卓也 (教育委員会事務局 教育総務課長)
大橋 誠司 (教育委員会事務局 教育総務課 施設係長)
江口 準啓 (教育委員会事務局 教育総務課 施設係主事)
設計事務所 2名 (株式会社大建設 名古屋事務所)

(3) 傍聴者 0名

4. 議題

- (1) 米野小学校実施設計について
- (2) 工事期間中の学校生活について
- (3) 記念碑の取扱いについて

5. 協議会内容

(1) あいさつ

伊藤部長よりあいさつ。

(2) 委員自己紹介

各委員より自己紹介。

(3) 令和6年度のスケジュール

事務局より説明。

(4) 協議報告事項

・米野小学校実施設計について

株式会社大建設計 名古屋事務所より説明。

柘植委員： グラウンドが校舎の北面であり、職員室もグラウンド側に面しているが、放送室がグラウンド側に面しておらず、南向きなのは何故か。

事務局： 2階に配置している放送室は児童が学内放送向けに利用することを想定した部屋であり、職員の方々が利用される放送設備は職員室内に別に設ける予定としている。2階吹抜け階段のワークスペース周りに窓を設けているので、そこから児童は放送しながら吹抜け階段の様子が見えるようになっている。

松由委員： 体育館が敷地南西にあるが、西日の影響等で暑くならないか。

事務局： 体育館には空調を設置する方針で計画を進めている。

安藤(和)委員： 普通教室、特別教室のそれぞれに空調は設置されるのか。

事務局： 普通教室、特別教室ともに空調機は設置される計画。

安藤(和)委員： 地域に開かれた学校づくりの一つとして地域協議会があるが、米野小学校と小牧南小学校はまだ地域協議会が設置されていない。そのあたりの計画についてはどうか。

事務局： 地域に開かれた学校づくりということで、1階はセキュリティラインを意識しながらミーティングルームや地域協議会として利用できる部屋を準備し、地域の方に様々な場面でご利用いただけるような設計をしている。

安藤(和)委員： 家庭科室が2階に配置されている。子供食堂を学校にて開催することも想定されるが、土日などに自由に利用することはできるのか。

事務局： 家庭科室は2階に配置されているため、現時点ではセキュリティ等を考慮すると自由に使うことは難しい状況である。そのため、今後どのように運用でカバーしていくか検討が必要である。

- 鈴木(賢)委員： 吹抜けのある屋内階段１、メディアセンター回りについて、空調の運用・計画に何か工夫はあるか。
- 事務局： 吹抜けのある階段部分はいくまで動線空間として空調機は設置していないが、児童が滞在するメディアセンターは空調機を設置しており、必要に応じて建具を閉めて周囲の廊下や階段部分と切り分け、空調効率に配慮した計画としている。
- 鈴木(賢)委員： メディアセンターについては理解した。吹抜けのある屋内階段１については、特に３階において換気がきちんとできるようにし、暑くならないようにしてほしい。
- 滝口委員： 普通教室について、１クラスは何人程度か。
- 辻ノ上委員： 普通教室は現在、平均３０人程。
- 滝口委員： １クラス３０人として、４クラス１学年が利用するトイレの器具数は足りているのか。また、学内で利用できるWi-Fi環境はあるか。
- 事務局： トイレの器具数については、人数に対して最も余裕のある器具数を配置するようにしている。Wi-Fiについても整備予定。
- 滝口委員： Wi-Fiについて、授業参観等に教室に入りきれない保護者が、周囲のワークスペースで映像を見られる、といった利用もできるようにお願いしたい。
- 事務局： 授業参観については、教室と廊下の間の扉の上半分をガラス張りとする事で多くの人が教室内を見られるような工夫をしている。
- 滝口委員： EVについて、基本設計の際に給食配膳で利用するEVと昇降口が近いのではないかと、といった指摘があったと思うが、どのような計画か。
- 事務局： 給食の配膳とEVの位置については給食センターと協議を行い決定している。EVを利用するのは２、３階のクラスの給食についてだが、EVでの移動の際は大型のコンテナに入った状態で移動する為、食材が直接砂埃等にさらされることはない。各クラス単位のカートへの移し替えは各階の配膳室に入ってから行うと聞いている。

・工事期間中の学校生活について

株式会社大建設 名古屋事務所より説明。

- 柘植委員： 解体時について、解体用車両は南側道路を使用し、北側は使用しないということか。西側道路は交通量がある程度多いので児童を通らせたくない。もし児童が通るのであれば見守りは必須なのでは。
- 事務局： 解体車両についてはその通り。解体時の他、新築工事においても敷地南側のエリアから通学する児童は迂回して西側道路から登下校する形になるが、安全を十分確保し対応する形になると考えている。

森 委 員： 校舎は令和８年度末に完成とのことだが、体育館の空調も同時期の設置として欲しい。

事 務 局： 体育館の空調についてもできるだけ早く設置したいと考えているが、詳細はこれから検討という形になる。工事と合わせて設置する方がより安く設置できるだろうということも考慮して検討をしていく。

辻ノ上委員： 令和８年度末の卒業式について、新校舎でなく旧校舎で行うことも可能か。

事 務 局： 旧校舎で行うことは問題無いと考える。

滝口委員： 工事中の仮囲いはどのような仕様か。足元まで囲いはあるのか。

事 務 局： ３ｍ程度の鋼板製の仮囲いを想定しているので足元までパネルがある。

滝口委員： 高さが低かったり足元が通過できたりすると児童が興味本位で工事現場に入ってしまうかもしれないので安全対策を行ってほしい。また、工事期間中重機は置いたままか。

事 務 局： 隙間の開いた柵ではなく、鋼板の板なので入り込めないと思われる。重機については使用する間は置いたままになると思う。

滝口委員： 米野小学校の体育館は比較的新しいので備品等、再利用できるものは再利用してほしい。

事 務 局： 備品の再利用については、今後検討していく。

滝口委員： 解体について、アスベスト除去についてはどうか。

事 務 局： アスベストは基本設計時に調査を行っており、内装の一部に含有していることを確認している。解体時にはそれらを適切に除去する予定。

滝口委員： 職員の方々の駐車場について、工事中は敷地内で台数確保できるのか。

青山委員： 校舎敷地の北側に市の市有地がある為、そこも併用しての対応を検討している。

松由委員： 米野小学校が新校舎になることもあり、この周辺が人気エリアになっていくことも想定される。その際、学校周辺の交通量が増えるといった状況も踏まえて、歩道や歩道橋を再整備する等の対応も市として検討してもらいたい。

事 務 局： 毎年各学校の通学路の安全状況は確認しているが、道路・交通状況を見ながら適宜対応していきたい。歩道橋等の大規模なものをすぐに設置するのはなかなか難しいので、地元の方達の協力も必要になる。

鈴木（賢）委員： 児童が工事現場に侵入するのではないかという意見について、これだけの大きな工事を行うので、むしろ工事現場の見学会等を開催すると、工事現場の様子や重機等を見てもらい学習の機会になる。児童に喜んでもらえると、工事中の騒音も我慢できたり、工事も楽しみに感じたりするのではないかな。そうした見学会等の開催、対応を工事発注の中に含めると良いと考える。

青山委員： 小牧南小学校の改築工事においても児童の工事現場の見学等を実施した。

- 青山委員： 敷地南西の三角路の部分については現在も人を立てて見守りを行っているが、強引な運転をされる方も見かけるので、今後の安全対策についても市の方で検討いただけると良いと考える。
- また、工事中の騒音について、小牧南小学校の際はいくつかのポイントにおいて騒音値を電子掲示板等で表示するようにしていた。工事工程等と合わせて、どのあたりに配置するか計画はあるか。
- 事務局： 工事の詳細計画は今後検討となる。
- 青山委員： 近隣住宅がある北側、西側の他、川沿いについても近くにアパートができたので、対応を検討してほしい。
- 事務局： 承知した。
- 青山委員： 改築工事期間中、地震などの災害が起きたとしても米野小学校のグラウンドが避難所として利用できない為、体育館や教室といった限られた場所での避難所対応となると思われる。そうした工事期間中の避難所としての状況や、近隣の別の避難所との連携等、調整した方が良いと考える。
- 事務局： グラウンドについては改築工事期間中使用できないが、体育館については、令和7、8年度は現在の体育館を、令和9年度は新しい体育館を避難所利用することはできる。近隣の学校との調整も含めて、危機管理の部署と連携していく。
- 辻ノ上委員： 引っ越しまでに、どこまで備品等を片づけておけば良いのか等も今後教えてほしい。
- 事務局： 今後調整する。
- 青山委員： メディアセンターの西側に中庭があり、この中庭はセキュリティ上においても学校側となるので、そこにガス栓を設けて屋外での子供食堂等の調理スペースとして利用することもあり得ると考える。
- 中村委員： 中庭は屋外空間ではあるが、屋内的な利用も含めて開放できると良いと考える。

・記念碑の取扱いについて

株式会社大建設計 名古屋事務所より説明。

- 鈴木(賢)委員： 記念樹について、銘板も何も無い場合も多くあり把握が難しいと思われる。他の自治体の工事のおいても、そうした把握が難しい記念樹の伐採において問題となったことがある。また、1970年代の万博の際にタイムカプセルを埋めたが場所が不明となってしまったというケースもある。壊してしまってからでは遅いので、伐採や撤去前に事前にアナウンスをしておいた方が良いと考える。

青山委員： 小牧南小学校の際もタイムカプセルが出てきて、当時の同窓会長に連絡を取ったとのこと。

松由委員 回覧板等でアナウンスするという方法もあるかと思われる。

青山委員： 郷土資料についても勝手に捨ててしまうといけないので、どこかの施設に残す等、慎重に検討する必要がある。

滝口委員： 記念碑等を残すと、次の世代に持ち越すことになるので、ミニチュア等を作成するのも良いのでは。

（３）その他

・今後の予定について事務局より説明。

以上。

※発言の内容については要旨としています。